

八幡平が目指す 価値を生み出す ワーケーション

文：(株)八幡平DMO

フリー・ランスが
集うことから始まつた
八幡平のワーケーション



岩手県八幡平市は十和田八幡平国立公園の南側に位置し、名峰岩手山や、松川温泉、藤七温泉、新安比温泉などの名湯、「雲上の楽園」といわれた松尾鉱山、日本最初の商用用地熱発電所などを有しており、SDGsでも注目を集めています。また、今シーズンで40周年を迎えるスノーリゾートの安比高原はIHG・AN A・ホテルズグループにリブランディングされ、さらに、世界的なインタナショナルスクールであるハロウスクールも開校予定です。

八幡平市では3年ほど前から平日の稼働率向上や長期連泊に寄与するものとしてワーケーションに注目しており、ワーケーション自治体協議会には2019年

の立ち上げ時から加盟しています。

また、2015年ごろから本格的な無料のプログラミング教室「スペルタキヤンプ」を継続的に実施しており、その取組みはフリー・ランスのエンジニア等に知られています。そうした背景もあり、

2019年から安比高原のペンション亞矢子ロッキーインとロッジタンデムが定額で宿に泊まれるサブスクリプションサービスの「HAT」を通じた受け入れを開始、フリー・ランスの若者がワーケーションスタイルで滞在するようになりました。

2020年11月には環境省のワーケーションモニターツアーが縁で、参加者と



1 八幡平頂上から八幡沼を望む
2 中のまきばで朝食(ワーケーションモニターツアーの様子)

置などを進めています。

企業向けのワーケーションの展開

企業向けには研修と組み合わせたワーケーションも展開しています。八幡平はSDGsやサステナビリティビジネスの方を学ぶ適地でもあり、現存する廃墟とかつての写真から企業の社会的責任のリアリティを学べる松尾鉱山、地域の資源を活かし循環することで多くの生業を生み出した松川地熱発電所、殺処分される運命の引退した競走馬を引き取り馬糞堆肥と地熱でマッシュルームを栽培する社会課題解決／循環型ビジネスのジオファーム八幡平、サーキュラーエコノミーの三原則の一つ「自然システムの再生」や、今後のビジネスが提供する価値として注目される「ウェルビーイング」を学び体験できる「中のまきば」「ブナの二次林」など多くのコンテンツがあります。実際に現場を見てマインドセットから変わつていく越境学習を提供できます。

2019年には、サーキュラーエコノミーをテーマに2泊3日の企業研修のプロトタイプを展開しました。この研修プログラムは2020年度にTRY!ワーケーションのモデルプランに採択され、現在は(株)日本能率協会マネジメン



トセンターと連携してラーニングワーカー ケーションプログラムの一つとして展開しています。

また、八幡平メディテックバレー プロジェクトを立ち上げて【過疎地を、日本テック事業の立ち上げも行っています。地域課題解決をテーマに新規事業開発を行いたい企業にとつて格好のフィールドになるはずです。

八幡平のワーケーションの価値

多種多様なアクトエイビティや温泉、地熱による循環型社会やソーシャルベンチャーの研修、八幡平でワーケーションを実施する価値はさまざまにあります。

その中でもフリーランスの方の受け入れで感じているのは、①交流の価値と参加者に深い内省を促す②自然散策の力です。

①交流の価値

参加者同士や、参加者と地域の事業者との交流が継続的な交流に発展しコミュニケーションとなることで、参加者にとつても地域の事業者にとつても新しい発想や事業機会の創出につながります。こうした交流は、参加者によってSNSで発信され、八幡平は面白そうという認識にならなっています。今後、フリーランスの方と企業人材等普段交わらない人材が交流することでさらにその価値が高まるこ

とを期待しています。

また、交流を単なるパーティに終わらないのが自然散策を通じた内省の時間です。自然と人の営みが絶妙に重なり、持続可能な共生関係を感じる「中のまきば」や「ブナの二次林」の散策は、自然と人とのシステムの中の自分を見つめることになります。何のために仕事をするのかを考えるよい環境となります。

自由で縛られないフリーランスの方から選ばれるということは、八幡平が本当に面白い、何かが生まれるかもしれないわくわく感のある地域ということです。今後、地域の事業者の課題解決から新たなビジネスが生まれることが期待できます。今後、地域の事業者との連携して、八幡平がグローバルに活躍するリーダーを育成するフィールドにもなることも期待しています。豊かな自然環境に囲まれたこの地でのリーダー育成は、SDGs、サステナブル／リジエナレイティブな社会の実現をリードする人材の育成となるでしょう。

キーリードとなるコーディネーター

八幡平には企業向けのワーケーションを受け入れるにあたって3人のコーディネーターがいます。安比ロックキーインの大滝克美氏はリクルートグループを経てマーケティングコンサルタントとして岩手県産業創造アドバイザーの肩書き

も持つ八幡平のワーケーションの中心人物。塚田崇博氏は人事や人材の専門家であり、八幡平へ移住後「まちの人事部」事業を開拓、市内の事業者への人の課題の解決や人材マッチングを通じて新たな事業を展開、市内の事業者への人の課題を執筆している柴田亮も八幡平DMOで観光地域づくりに関わりながら、大手コンサルティング会社での経験を持ち東日本大震災では産業再生、地域再生のコ

ディネーターとして大手企業と地域企業のマッチングにも携わってきました。この3人が連携して、八幡平でワーケーションを通じた価値創造をしたい企業の要望を聞き、地域とのマッチングや最適なプログラムの開発などをしています。また、八幡平市観光協議会のワーケーション部会としては、行政と民間事業者が連携する枠組みも機能しており、八幡平でワーケーションを展開したい企業のサポート体制を整えています。

ワーケーションを通じて、長期的にゆったりと八幡平に滞在しやすい環境を整え、滞在中の参加者と地域の事業者が交流を通して縁を結ぶ。その後、長期継続的な交流の中で、地域にとつても企業にとつても意味のある価値創造のセレンディピティをつくっていく、この繰り返しによって、企業やフリーランスの若者が八幡平の関係人口になっていく取り組みを進めていきたいと考えています。



ラーニングワーケーション®(日本能率協会マネジメントセンター)のテキスト



TRY ! ワーケーションモニターツアー IN 八幡平のパンフレット

八幡平のワーケーションの取り組みについては以下のウェブサイトをご参照ください

URL <https://workation.trip8.jp/>

キーリードとなるコーディネーター

八幡平には企業向けのワーケーションを受け入れるにあたって3人のコーディネーターがいます。安比ロックキーインの大滝克美氏はリクルートグループを経てマーケティングコンサルタントとして岩手県産業創造アドバイザーの肩書き

も持つ八幡平のワーケーションの中心人物。塚田崇博氏は人事や人材の専門家であり、八幡平へ移住後「まちの人事部」事業を開拓、市内の事業者への人の課題の解決や人材マッチングを通じて新たな事業を展開、市内の事業者への人の課題を執筆している柴田亮も八幡平DMOで観光地域づくりに関わりながら、大手コンサルティング会社での経験を持ち東日本大震災では産業再生、地域再生のコ

ディネーターとして大手企業と地域企業のマッチングにも携わってきました。この3人が連携して、八幡平でワーケーションを通じた価値創造をしたい企業の要望を聞き、地域とのマッチングや最適なプログラムの開発などをしています。また、八幡平市観光協議会のワーケーション部会としては、行政と民間事業者が連携する枠組みも機能しており、八幡平でワーケーションを展開したい企業のサポート体制を整えています。

ワーケーションを通じて、長期的にゆったりと八幡平に滞在しやすい環境を整え、滞在中の参加者と地域の事業者が交流を通して縁を結ぶ。その後、長期継続的な交流の中で、地域にとつても企業にとつても意味のある価値創造のセレンディピティをつくっていく、この繰り返しによって、企業やフリーランスの若者が八幡平の関係人口になっていく取り組みを進めていきたいと考えています。